

目標・評価規準作成例

第3学年 中学校国語科学習指導案

言語活動を表す

指導事項を表す

- 1 単元名 新聞の社説を読み比べ、書き手の工夫について交流・検討をする
～文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる～

※単元名は、単元を貫く言語活動がわかるとともに、身に付けさせたい指導事項がわかる表記にする。

2 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること **ができる**。 [知識及び技能] (2)ア
- (2) 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること **ができる**。 [思考力, 判断力, 表現力等] C(1)イ
- (3) 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること **ができる**。 [思考力, 判断力, 表現力等] C(1)ウ
- (4) **言葉がもつ** 価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おう **とする**。 [学びに向かう力, 人間性等]

※ [知識及び技能] [思考力, 判断力, 表現力] は基本的に、指導事項の文末を「～ができる。」にして示す。
※ [学びに向かう力, 人間性等] は、各学年の目標の「言葉がもつ～伝え合おうとする。」までを示し、年間を通じて同じものを設定する。

3 本単元における言語活動

新聞の社説を読み比べ、書き手の工夫について交流・検討をする。(関連：言語活動例ア)

シンプルに一文で示す

4 単元について

今年度4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果から、本校の課題は「読むこと」であることがわかった。正答率が低かった設問は、読むこと2年(1)ウ「文章の構成や展開、表現について、根拠を明確にして自分の考えを持つ」(正答率69.4%)である。さらに正答率も低く、全国との開きが大きかった設問は、読むこと1年(1)イ「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりすること」(正答率57.2%、全国比-4.1)である。

～ 省 略 ～

※「単元について」は、内容を(1)指導観(2)教材観(3)生徒観など項目ごとに分けて書いても良いし、ひとまとまりにして書いても良い

冒頭に当該単元で指導する領域名を明記する

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (3)ア	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ②「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 (C(1)ウ)	①積極的に、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について考えながら、既習事項を使って、新聞の社説を読み比べ、理解したことや考えたことを基に評価しようとしている。

文末は「～している」

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く etc.〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして etc.〉
- ③他の2観点において重点とする内容(特に粘り強さを発揮してほしい内容)
- ④当該単元の具体的な言語活動(自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動)

※単元の評価規準は、単元の目標とリンクすること。
(目標の文末を「～している」に変えるだけでOK)
※領域が複合的に組み合わせられる単元(複合単元)の設定は注意が必要。
※「主体的に～」の実際の評価は2時間目以降に行う。
※本時の計画には具体的なBの姿、Cへの支援を記入する。

6 単元の指導と評価の計画（全4時間）

時	学習活動	言語活動における 指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のゴールを確認し、学習の見通しを持つ。 ○二つの社説を読み、それぞれの立場や主張の違いを捉える。 ○二つの社説について自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社説の目的について理解させる。 ・確認し学習の見通しを持たせる。 ・事実・根拠・主張を考えさせる。 ・グループ内で発表させ、自分の考え以外を赤ペンでワークシートにメモをさせる。 ・グループの意見を発表させる。 ・社説が述べていることに対して、自分自身どのように考えたかをまとめさせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[知識・技能]（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、二つの社説の立場や主張の違いを捉えているかを確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]① （ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、それぞれの社説に対する自分の考えを確認する。 </div>
2	<ul style="list-style-type: none"> ○主張を伝えるために書き手としてどのような工夫をし、どのような効果になっているのかを読み取る。 ○工夫の共通点と相違点について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の仕方について、工夫している点を書かせ、書き手の意図や目的、その効果についてもワークシートに箇条書きで書かせる。 ・それぞれが、着目している部分を具体的に示して、発表させる。 ・発表しながら、グループ（観点）に分けさせ、共通点と相違点を見つけさせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 100px;"> <p>[思考・判断・表現]② （ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している </div>
3	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の話し合いの内容を発表する。 ○文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。（個人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合ったことをまとめて発表させる。（ホワイトボードの活用） ・社説の主張をより効果的に伝えている工夫について根拠をあげて、考えさせる。 ・考えるときには、着目した部分が全体や他の段落をとどのような関係になっているかも考えさせる。 ・二つの社説のどちらが、より主張を伝えるための書き方になっているかを考えさせる。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #ADD8E6; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※「主体的に～」の評価は、2時間目以降に行う。</p> </div>
4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○二つの社説のどちらがより主張が伝わる書き方をしているのかを交流検討する。 ○交流したことを踏まえ、二つの社説を評価し自分の考えを文章でまとめる。 ○まとめ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で考えた自分の考えを発表させ、自分の立場をはっきりさせる。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方のさまざまな面から、考えさせる。 ・二つの社説を比較し、根拠をあげて書かせる。 ・社説の書き方について、考えたことや今後の文章に生かしたいことを書かせる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度]（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、交流の場面で、様々な面から考え、評価するために、意見を交流したり、気付いた内容をワークシートにメモしたりしようとしているかを確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>[思考・判断・表現]② （ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、交流した内容を踏まえ、二つの社説を評価し、自分の考えをワークシートにまとめている内容を確認する。 </div>

7 本時の学習（4／4時間）

(1) 本時の目標

文章の構成や展開、表現の仕方について評価することができる。

(2) 本時の授業の工夫

- ・グループで交流検討することにより、自分と違う視点や工夫に気づかせる。
- ・拡大、ラミネートした新聞記事をグループ全員が見ながら、着目した部分に印をつけ説明できるようにする。

(3) 本時のめあて

◎二つの社説のどちらが、より主張が伝わる書き方をしているか根拠をあげて説明しよう。

(4) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価項目 (方法)
導入 5分	①前時までを振り返り、本時のめあてを確認する。	・学習進行表を提示する。	Bの具体的な姿 Cの具体的な支援を 記入する
展開 35分	◎二つの社説のどちらが、より主張が伝わる書き方をしているか根拠をあげて説明しよう。		
	②二つの社説のどちらがより主張が伝わる書き方をしているのかを交流検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・主張が伝わる書き方をしている社説はどれなのか根拠をあげて説明する。 ・拡大、ラミネートとした新聞記事をグループ全員が見ながら、着目した部分に印をつけて説明させる。 ・各自が着目した部分が文章全体や他の部分とどのような関係になっているかについても話し合うように促す。 	【主体的に学習に取り組む態度】 (ワークシート) B 概ね満足の姿 具体的な根拠をあげて社説を評価するために、交流の場面で積極的に意見を出したり、気付いた内容をワークシートにメモしたりしようとしている。 Cの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導の際に声かけをする。 ・前時の授業の中から参考になることを探したりするように促す。
	※予想される生徒の意見を考えておくこと。(実際に教師が、設定した言語活動をやってみることが大切!!)	【予想される生徒の意見】 例1 沖縄タイムスの方がよい。書き始めからグレッタさんの強い批判の言葉を用いることで、インパクトがあり、読者が引きつけられる。また、政府へ早く政策転換してほしいという主張が伝わりやすい。 例2 琉球新報の方がよい。世界だけでなく、沖縄のサンゴ礁や石灰火力発電の依存度が高い実情を書くことによって、気候変動が日常生活に密着し、政府だけではなく、個人一人一人が関心を高めるべきだという主張がより伝わるからだ。	【思考・判断・表現】② (ワークシート) B 概ね満足の姿 <ul style="list-style-type: none"> ・二つの社説を比較し、具体的に根拠を示して、文章の構成や論理の展開、表現の仕方を評価している。 Cの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内の意見を聞き、自分なりの考えをまとめるように促す。
③交流を踏まえて、見直した部分や納得した部分をワークシートに追記する。	・自分が主張していた社説だけではなく、納得した部分を見直し、追記するように指示する。		※評価方法は安易に設定しない (実際にできる方法を書くこと)
④交流したことを踏まえ、二つの社説を評価し自分の考えを文章でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠をあげて、説明させる。 ・二つの社説を比較し、選ばなかった社説にも言及するように指示する。 ・状況を見て1～2名発表をさせる。 		
終末 10分	⑤これまでの授業を振り返り、文章でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3名、指名して発表させる。 ・ワークシートを回収させる。 	※Aの姿は記入する必要はないが、しっかりと検討し、設定しておくこと
	◎これまでの授業を振り返って、社説の書き方について考えたことや今後、説得力のある文章を書くために工夫したいことをまとめよう		

《引用・参考文献》

『新編 新しい国語 3』(東京書籍株式会社) 『新編 新しい国語 3 教師用指導書 研究編①』(東京書籍株式会社)
 『中学校学習指導要領解説 国語編』(文部科学省2018) 『平成31年度 全国・学力状況調査 解説資料 中学校国語』(国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成31年4月)
 『平成31年度版 「問い」が生まれる授業サポートガイド』(沖縄県教育委員会 平成31年3月) 『中学校 新学習要領 国語授業づくり』(富山哲也著 明治図書出版株式会社 2018年7月)
 『平成22年度 全国学力・学習状況調査 中学校の結果を踏まえた授業アイデア例』(国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成22年8月)
 『平成25年度 全国学力・学習状況調査 中学校の結果を踏まえた授業アイデア例』(国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成25年9月)
 『平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査中学校の結果を踏まえた授業アイデア例』(国立教育政策研究所教育課程研究センター令和元年9月)
 『「指導と評価の一貫性」のための学習評価に関する参考資料 中学校 国語』(国立教育政策研究所教育課程研究センター令和2年7月)